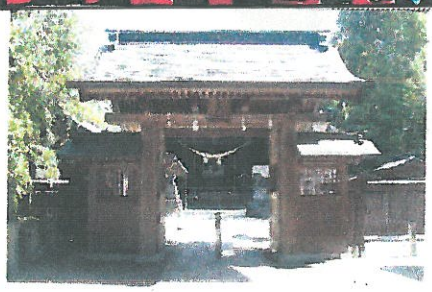
私たちのおすすめ！スポット

天満宮



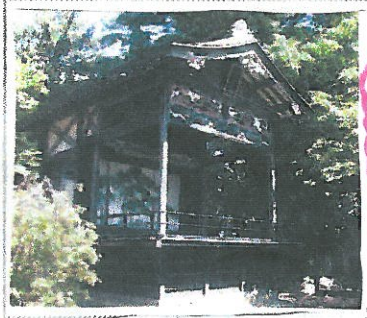
天満宮は、戦国時代に建てられて江戸時代に建てられて江戸時代の半ばに現在の天満宮がある場所に移されたものです。そして、例祭、五月五日は子供祭されてから二百五十年以上もあの場所に建っているそうです。

学問の神様がいるため、お正月には約五万人くらいの人が来るそうです。年間では約七万八千人の人がおとずれるそうです。お守りは、色々な種類があって合格、健康、交通、安産、厄除けなどが売っています。行事も色々あります。

一月一日、二日、三日は初詣
十五日は成人祭
二十五日は初天神
二月三日は節分追儺祭
三月二十五日は春季例祭
四月二十五日は春季例祭
五月五日は子供祭
六月三十日は夏越大祓
九月十五日は敬老祭
十月二十五日は秋季例祭
十一月十五日は七五三
十二月二十五日は除夜祭

みなさんも様々な、ご利益などがあるのでぜひとも天満宮へ行ってみてください!!

江戸時代からある舞台!?



焼きまんじゅう 前沢屋

このお店は焼きまんじゅう専門店でインターネット販売をしており、お店で焼きたての焼きまんじゅうが食べられます。一本一六〇円です。作っているところも見ることができます。焼き始めると焼きまんじゅうのいいにおいがします。

お店を始めようとしたきっかけは？

凌川に前沢屋という所があり修業をしたそうです。

うわさでキャラメル味の焼きまんじゅうが本当にあるのか調べました。

でも基本は売ってないそうです。桐生の人イベントには売っているそうです。

若い人には人気ですがお年寄りの方にはあつうの焼きまんじゅうがいいということなので現在はイベント以外は売ってないそうです。

イベントの時の売り上げは？

一日に五百本はでます。

学校行事、祭りなどにみなさまから親しまれてます。

焼きまんじゅうを焼いている所。

前沢屋の看板。

桐生織物記念館

この桐生織物記念館は、昭和九年に建てられた伝統ある記念館です。この記念館では織物のことを「織都桐生千三百」というそうです。この「千三百」という数字は、織物が始まってから、千三百年たつという事だそうです。昨年、ちょうど千三百年になったそうです。

今作っている中で代表的で有名なのは、着物や帯などです。今では、ネクタイやスカーフ、家で使うカーテンや小物などが多くなっているそうです。

ここでは、本物の織機で、観光客や見学者などが体験できる場所などがあります。他にも、まゆの作りなどを教えていただきました。まゆは、さなぎの状態で温風をかけて、中のさなぎが蛾にならないようにするそうです。蚕はさなぎになるために、千三百メートルも糸をはくそうです。こんなにも楽しめる所があるので、ぜひ行ってみてください。